

第1回 江戸博でつくろう！授業のもと

ワークショップ開催のお知らせ

東京都江戸東京博物館(東京都墨田区)にて、学校の授業で活用できる教材づくりのワークショップを開催いたします。

本ワークショップは S×UKILAM (School×University・Kominkan・Industry・Library・Archives・Museum) 連携という手法により、学校関係者と資料公開機関の関係者が協力し、学校教育と多様な資料をつないで教材をつくりあげていくものです。

2026年3月31日にリニューアルオープンした常設展示室にて、江戸東京の歴史や文化、人々の暮らしに関する収蔵資料・模型をご覧いただいたのち、図書室で一緒に楽しく授業案を考えてみませんか。



東京都江戸東京博物館図書室

【開催概要】

日時: 2026年8月9日(日)10:00~16:30

場所: 東京都江戸東京博物館7階 図書室 (東京都墨田区横網 1-4-1)

参加費: 無料/事前予約制

(参加申込フォーム: <https://ws.formzu.net/fgen/S573138022/>)

定員: 20名 (申込は7月25日まで。応募者多数の場合は抽選となります。)



申込フォーム QR コード

【プログラム内容】

- ①常設展示室見学(自由見学)
- ②教材化ワークショップ
- ③意見交換・総合議論など

【主な参加対象】

小学校教諭 ・ 中学校教諭 ・ 学校図書館司書 ・ 専門図書館司書 ・ 自治体職員など

【当日の持ち物】

- ・授業案作成用 PC
- ・カメラ(任意)
- ・授業で使用している教科書・資料集(任意)
- ・蓋つき飲み物(水・お茶)



画像提供：株式会社インターメディア開発研究所
常設展示室

【ファシリテーター】

大井将生准教授（同志社大学文化情報学部）

【備考】

- ・ワークショップ中に撮影した写真・動画は、今後の広報活動に使用する場合があります。ご了承の上、ご参加ください。
- ・ご作成いただいた授業案は、Tokyo Museum Collection—東京都立博物館・美術館収蔵品検索、S×UKILAM 連携のウェブサイトに掲載を予定しております。

本ワークショップは、東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団で進める「TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト」の一環として企画開催しております。

主催：東京都歴史文化財団 アーツカウンシル東京、東京都江戸東京博物館

同志社大学 文化情報学部デジタルアーカイブ研究室

お問い合わせ先：dalab2501@gmail.com

TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト

東京都と公益財団法人東京都歴史文化財団が推進する「TOKYO スマート・カルチャー・プロジェクト」とは、東京都の文化施設が有する収蔵品や、各館の展覧会・公演等の活動の文化資源をデジタル化して記録・保存するとともに、多様な形態での鑑賞体験を提供するプロジェクトです。文化資源のオンライン公開、最先端技術による新しい鑑賞体験の創出と各館の情報環境整備を一体的に推進し、「誰もが、いつでも、どこでも芸術文化を楽しめる環境」を実現していきます。